

## テーマ

### 『 落ちる水を触ってみよう』

#### 《テーマ設定理由》

水に触れることで温度や感触の心地良さを感じる。  
感覚の発達や情緒の安定を促す。

#### 《環境設定・準備したもの》

- ・水の入ったたらい
- ・穴の開いたペットボトル

#### 《活動スケジュール》

活動内容	ペットボトルシャワーの活動
時間	7月31日／30分間
人数	3人

#### 《振り返り・気づき》

水が上から落ちてくると、顔にかかったりするため嫌がるかな？と思っていたが、そんなことはなく、嬉しそうに指差しする姿から水に関わることの喜びが感じられた。また、そこから溜める、という気づきに繋がったことに驚いた。そして、手で溜めることから容器に変化し、水が溜まる様子を見る姿が見られた。そこには水が「落ちる」現象から、発展し、考え、(こうしてみよう)と試していく子どもの主体的な姿勢があった。

#### 《活動内容・子どもの様子》

- ・上から水が落ちてくことに気づき、「あ！」と指差しをした。
- ・水が落ちてくる場所へ向かい、水を両手で受け止め始めた。
- ・その後(そうだ!)というように何かに気づき、玩具の入っているカゴへ…。(何をやるのかな?)と思って見ていると、容器を手にして戻って来た。
- ・今度は容器で水を受け止め始める。
- ・その様子を見た他の子どもも同じように容器を持って来た。
- ・水の落ちる場所をよく見てそこに容器を置き、水がたまるのを待つ。少しずつ水がたまる様子を喜んでいた。

